

イカナゴ類夏眠場調査の結果について

(地独)青森県産業技術センター水産総合研究所

イカナゴ類の夏眠場と想定される下図3海域について、本年9月から10月にかけて空釣り及びビームトロールで分布状況を調査しましたので、その結果をお知らせします。

佐井村沖では1地点において5個体が採捕され、そのうち1歳魚が3個体、2歳魚が2個体でした。平成27年以降5年ぶりに採捕されたものの、平成8年の300個体と比べると遥かに少ない状況でした。むつ市大畑町沖では4個体が採捕され、そのうち1歳魚が1個体、2歳魚が2個体、3歳魚が1個体でした。平成30年の18個体と比べると採捕数は減少し、平成13年の340個体と比べると遥かに少ない状況でした。東通村尻労沖では3個体が採捕され、全て当歳魚でした。全く採捕されなかった平成30年と比べると増加しましたが、平成28年の59個体と比べると少ない状況でした。これらのことから、いずれの海域も分布は極めて少ない状況が続いていると考えられました。

当所では今後も資源動向のモニタリングを継続していく予定です。漁業関係団体の皆様に於かれましては引き続き本種資源を適切に管理いただきますようよろしくお願いいたします。(担当: 資源管理部)

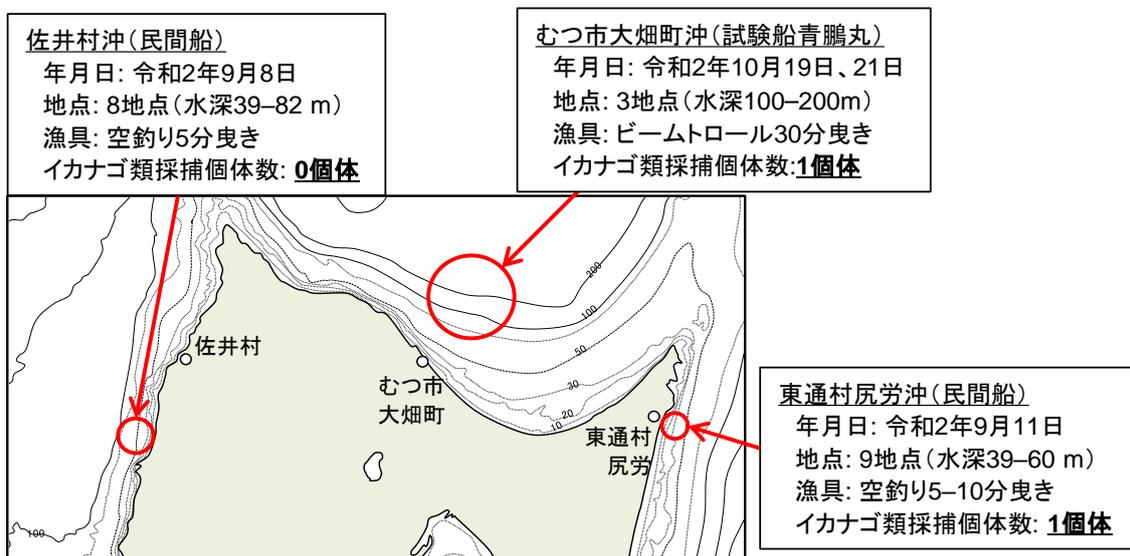


図. イカナゴ類夏眠場調査の結果